



千葉市議会議員

たばた直子

議会報告
レポート
VOL.44



公園について質問をしました！

千葉市の公園の現状

- 大規模公園の民間活性化が進んでいる。
- 公園を活用し、地域団体の活動の促進や人材育成、環境学習の推進の必要がある。
- 大規模公園や里山、緑地などの自然生態系を維持させる必要がある。
- これから10年が計画期間となる「緑と水辺のまちづくりプラン」を策定中。
- 人口減少、少子高齢化となるなか、住宅地にある街区公園等では老朽化が進み、地域住民の利用が十分ではない。

稲毛海浜公園

プールのリニューアル、グランピング施設や海に伸びるデッキなどにより機能充実。



県立幕張海浜公園

現在、市が管理し、NPO との連携なども。



豊砂公園

パークマネジメントによるイベントの開催や誰でも遊びやすいインクルーシブ遊具の設置。



泉自然公園

フィールドアスレチック「フォレストアドベンチャー」などの設置。



花島公園

溪流園

昭和の森公園

フォレストビレッジ



美浜区の公園

手づくり公園まさご



幕張ベイパーク 若葉三丁目公園



たばた直子の意見要望



- 民間活用を進める中で、**指定管理者が運用しやすいよう権限を緩和し、効果的な活用を。**
- 大規模公園の自然生態系を維持するため、樹木の種類に合わせた**適正な管理と長期的な計画を。**
- 公園を資源として、**回遊性を高め、一体的なまちづくりを。**
- 市民や地域団体と協働し、**人材育成や活動拠点としての活用を。**
- 市域の自然生態系維持について、農政部・環境局など、**庁内他部局との連携強化を。**里山の保全については、**県計画を踏まえ、県とも連携を。**
- 街区公園・近隣公園・地区公園などを時代経過や地域特性を踏まえ**機能分担や再編を。**
- グリーンインフラによる緑の機能を活かした街づくりを**庁内他部局や産官学連携で推進を。**
- 多様な主体による参画による運営を進め、ネットワークづくりや連携を。
- パークマネジメントについては、企業主導型（豊砂公園など）や市民協働型（手づくり公園まさごなど）で進めているが、**多角的な事業により、総合的に進める必要がある。**
- 公園建設費や公園維持管理費は今後も緊縮状況。公園の遊具や樹木等の老朽化が進む中、**効果的な財源の活用が必要。**
- 公園をフィールドとして**環境・自然学習の推進をはじめ、福祉・子育て・健康など様々な活動拠点に。**
- 現行の緑と水辺のまちづくりプランの実績を踏まえ、人口減少に向かう将来を踏まえ、次期プランでは**緑を活用した魅力的な街へ、都市計画マスタープランや環境基本計画等の内容も踏まえ、計画の推進を。**
- 県立幕張海浜公園**におけるサウンディング調査結果を活かし効果的な運営を行うとともに、**県からの移譲を進め、幕張新都心構想の元、一体的なまちづくりを。**

グリーンインフラ とは？

自然が持つ多様な機能を持続可能な社会と経済の実現に向けて街づくりを通し、地域・社会の課題解決に利用する設備や取り組み。緑を意味する「Green」と、水道や道路・医療サービスといった社会を支えるために必要なあらゆる資本を示す「Infrastructure」を合わせた言葉。



公園について
質問する様子





不妊の支援とプレコンセプションケアについて質問しました！

●● プレコンセプションケア とは？ ●●

小学校高学年から生殖可能年齢にある人を対象とし、男女ともに将来の妊娠等も意識し、自分の心身の健康管理を行うこと。若年女性が痩せていることは骨量の減少や、低出生体重児出産のリスク等との関連があるなど、健全な妊娠は、赤ちゃんの健康状態につながることを踏まえ、妊娠前からの望ましい食生活の実践等、適切な健康管理に向けて各種指針等による普及啓発や、発達段階に応じた包括的な性教育を十分に行うことが必要。



千葉市の現状や課題

- 千葉市の合計特殊出生率は平成30年に1.3を下回り、令和元年は1.26、令和2年は1.22と全国平均を下回る。県内の中でも高くない。
- 妊娠年齢の高齢化により、不妊治療を受ける夫婦も多い。
- 妊娠を望む場合の支援の充実がさらに必要。
- 若年層の男女にも妊娠にとって大切な健康管理の情報提供をする必要がある。

千葉市の女性健康支援事業

○女性のための健康相談

対象：思春期から更年期の女性

●美浜保健福祉センター

◎TEL：043-270-2213

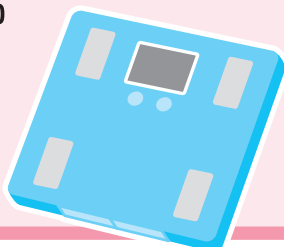
■開催日：9月27日（火） 11月22日（火）
1月26日（木） 3月10日（金）

■開催時間：10：00～12：00

※予約制（各2名）

健康教育事業

乳がん検診会場などで開催



たばた直子の意見要望

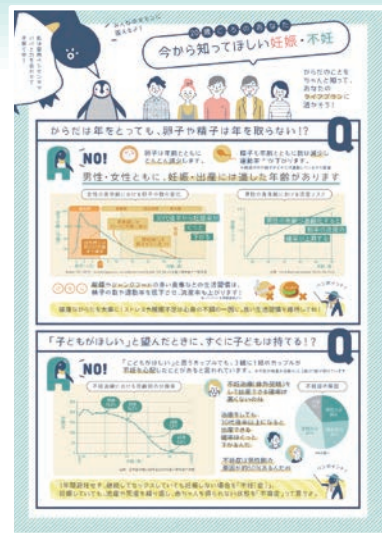
- 千葉市においても、現在の助成健康支援事業を若年層まで広げたいうえでさらに充実されプレコンセプションケアを地域保健だけでなく学校や医療機関と連携して進める必要がある。
- 不妊治療が保険適用となったが、不妊検査は、未だ保険適用外。経済的・精神的負担軽減や、早期受診につながるよう、不妊検査への受診助成を市の単独事業として行う必要がある。
- 両市立病院における若年層も含めた女性の健康相談と受診体制の強化を図る必要がある。
- 学校において、年代に応じた包括的性教育を行い、助産師・医師など外部人材を活用して、生活やライフプランに活かせる実践的な知識を学ぶ機会を充実させる必要がある。



発行：たばた直子事務所

住所：〒261-0011 千葉市美浜区真砂3-4-4 2F
千葉海浜交通 稲毛海岸駅発～稲毛駅行きバス 真砂第三公園バス停前
TEL：043-216-3861 FAX：043-216-3891
メールアドレス：info@tabatanaoko.com
ホームページ：http://tabatanaoko.com

健康支援課作成の若年層向け健康支援チラシ



ペリネイタルロスについて質問しました。

●● ペリネイタルロス とは？ ●●

流産・死産・人工妊娠中絶・新生児死等を経験した母親の総称。「妊娠12週以降の亡くなった赤ちゃんの出産」を死産と定義しており、2019年には約1万5500人が死産、死産率は2.2%。12週未満の流産は平均で約15%、妊娠経験のある女性の約40%が流産を経験するとの調査も。妊娠年齢が高くなるにつれ、流産率も高くなるため、40歳以上では、妊娠のうち約半数が流産するとも。

千葉市の現状

- 千葉市の年間出産数は5976、流産・死産数は119。
- 流産・死産した方への心身のサポートや情報提供の充実が必要。
- 不育症検査費助成は令和2年度24件、3年度は29件。支援の充実が必要。

たばた直子の意見要望

- 子育て世代包括支援センター事業や産後ケア事業、産婦健康診査事業の対象となることから情報提供をし、サービス利用を促すように。
- 戸籍課窓口で死産届けを出した方へ、チラシを手渡すなどの工夫をし、市のホームページでは、出産・育児をする世帯への情報と分け、別のページで掲載を。
- ピアサポート活動等への支援やカウンセラーによるグリーフケア等による相談支援の構築を。
- 妊娠16週以降の死産の場合、56日の産後休暇、男性も7日間の忌引き休暇が取得可能。取得の周知を。



働く天使ママの会 イキツクさんのHP



iKizuku

働く天使ママコミュニティ【イキツク】

https://i-kizuku.amebaownd.com/pages/4996911/page_202106041436

不妊検査や治療、プレコンセプションケアの必要性について海浜幕張にある亀田 IVF クリニック幕張の川井先生から様々なご教授をいただきました。

